

資料 /



平成27年9月25日

長井市長 内谷重治様

長井市振興審議会
会長 北川 忠 明



地方人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定について(答申)

平成27年5月28日付政第47号にて、本審議会に諮問された長井市の地方人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定について、慎重に審議を行ってまいりましたところ、下記のとおり意見を取りまとめましたので、ここに答申いたします。

記

- 1 長井市人口ビジョン案及び長井市総合戦略案に対する意見

(1) 長井市人口ビジョン案 関係

- ・長井市の就業者の年収変化はどうなっているのか。男性の未婚率が低い状況は年収などの外的要因によるのではないかと考えられることから、年収変化等を把握しておくべきと考える。
- ・人口推移で地区ごとの人口推移の形に違いがあるが、この要因についても示せると尚良い。

(2) 長井市総合戦略案 関係

○基本目標 1 (若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる) 関連

- ・婚活支援事業は、成果を挙げるためにより具体的な方法を考えていく必要がある。
- ・女性の働く割合が多いなかでさらに女性が仕事場で活躍すると、男性の活躍の場を奪ってしまうのではないか。女性だけではなく、「男性の活躍」についても触れるべきではないか。
- ・女性の活躍や結婚のためには、魅力ある男性が必要であり、男性の魅力を引き出す企画が必要ではないか。

○基本目標 2 (長井市への新しいひとの流れをつくる) 関連

- ・長井市出身の若者たちには、自分が働くことができる場所や人のつながりを魅力に感じて戻ってくる努力をしている人もいる。若者は長井に戻ってこないかと断定せずに、移住定住の取り組みをしていくことが必要。
- ・Uターン者を増やすためには、県外へ行った学生に産業などの地元の魅力を伝えていくことが必要であり、そのためには高校との連携が不可欠。
- ・教育の魅力を親世代に伝えていくために、環境整備としてハード面に加えて、長井市の教育の成果をわかりやすく広報していく必要がある。
- ・都会に出た長井市出身者が地元のことを考えるのは、就職や家族を持った時。その選択の時に長井市のことを思ってもらえるようにするために、子どものうちからの教育が大事になる。
- ・長井市に大学や大学の一部の誘致をすることにより、長井市から外に行く若者を減らして、反対に外から来る若者を増やせるのではないか。
- ・今の時代はITが不可欠だが、長井市はWi-Fi環境が弱い。訪日外国人観光客が増加しているなかで、長井でも外国人観光客を受け入れるためにはWi-Fi環境の整備が必要であり、それはIT関係の起業も促進できると考えられる。

○基本目標 3（長井市における安定した雇用を創出する）関連

- ・人口減少対策のためには雇用が大事になってくるが、中小企業の活性化策にはまだ改善が必要。
- ・魅力ある農業という部分では、新規就農への支援策だけではなく、6次産業化などの農業の出口部分として収益が上げられるように支援する施策が必要。
- ・企業誘致のためには税制優遇措置も含めて考えていく必要がある。
- ・農家の後継ぎが新たな担い手として規模拡大をしようとする時に、忙しくなりすぎて視察や研修などができない現状があるため、行政で研修機会を作るなどの対応ができると良い。

○基本目標 4（時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る）関連

- ・長井市には若者が楽しめる施設等が少ないため、そこに行けばいろんな人と交流できるというような場所が必要。若者が集まれる場所があれば、婚活事業などをしなくても交流できるのではないかな。
- ・地元のお祭りや黒獅子などのコミュニティーがあることで、また長井市に戻ってきたくなくなるという人もいる。子どものうちから黒獅子等に親しむことについて、もっと活躍の場を与えたり、支援したりするということも人口減少対策に効果があるのではないかな。